

キャラクター名  
白椿雪羅

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン オルクス		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプション			年齢	17歳	性別	女
覚醒	素体	衝動	解放	初期侵食率	34%	
出自	天涯孤独	経験	大事故	邂逅	保護者：霧谷雄吾	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	1	0			2	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	3	0	0			3	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
霧谷雄吾	P 尊敬	N 疎外感		
藍澤樂	P 連帯感	N 憐憫		
春日井幽	P 懐旧	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果： <コンセントレイト：ハヌマーン>								
力場の形成	1/154p	5	3	セットアップ	視界	単体	-	-
効果： ラウンド中・攻：+ [Lv×2]								
要の陣形	1/152p	2	3	メジャー	-	3体	シンドローム	-
効果： 組み合わせた行動の対象を3体に変更。制限：1シナリオLv回まで								
振動球	1/135p	4	3	メジャー	視界	-	RC	-
効果： 攻：+ [Lv]の射撃・装甲無視攻撃。								
ジャミング	1/152p	2	4	オート	視界	単体	-	-
効果： 対象の判定直前にダイスを-Lv個する。 制限：1ラウンド1回まで								
高濃度酸素バブル	★	-	メジャー	至近	範囲(選択)	-	-	
効果： 周囲の大気を操り、高濃度の酸素で満たされた空間を作り出す。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

▼経緯  
彼女の幼い頃、街ひとつが消滅するレベルの地震が起きた。飽くまで『地震』として全てを処理されたものであるが、それはあるオーヴァード研究所の人間が「実験の被検体」として耐えうる肉体を持っているかを選別するための『事件』であったともされている。その中で生き延びた数名の中でも特に生命力が強く、年齢適正があるとされた少女が彼女、白椿雪羅であった。  
その研究所では、地震大国である日本において生存能力を高めるためには酸素を取り込める状態を維持しつつ、肉体をより柔軟性の高いものにすることが求められているとしており、[肉体を液体により近づける]ことによって人間種により生存に耐えうる適正を持たせようと考えていた。結果、モルモットとして一番最初に肉体改造を行われ全身が水のように変化するようになってしまった。

▼備考／肉体  
[オルクス]としての能力で、コンクリートや地面であろうと彼女が望めばそこは彼女の動きやすい水場と化す。実際に水になるのではなく、外見の形状を保ったまま内部が水のようにぶよぶよとし、その部分と溶け合って自由自在に動き回ることが出来るようになるのだ。ゆえに、オルクスとしての能力を駆使すれば壁を滝水のように扱い登ることが出来る。力の制御のため彼女の体が触れた部分を中心に直径1m程度しか効果を果たさないものの、彼女自身が動く度にその範囲も同じように動くため特別困ることはない。  
体が殆ど水になってしまった彼女を人間として形取るのは[ハヌマーン]としての能力。全身の水面をきめ細やかに震わせて人の型になり、おっとり動くことにより上手く膜が壊れないようにしている。もし熱を浴びて蒸発することがあっても同じくハヌマーンの能力により、大気全体を震わせて水蒸気を集め肉体を元通りにすることも可能。そんな肌は人の体温で火傷をしてしまうほど弱く、触れられれば振動が行き届かなくなりひとの形を保てなくなってしまうため、基本的に誰かに触れようとするのもないし触れられたいとも思っていない。熱は飽くまで人の形を取る上での弱点であり、レネゲイドウィルスによる精神の乗取り等がなければほぼ不老不死と言える体であるとされる。なお、やる気をなくしたり都合が悪くなると水になって逃げる。

▼人間関係